問　題　訂　正

前期日程　・　第２日目

教科目名　（　地理歴史等　）（　世界史　）

１　ページ　　問題Ｉ　第２段落　４行目

（誤）　　（正）

打ち　⇒　うち

地歴 問

地理歴史等

平成30年度　(前期日程)

注　意　事　項

1　「解答はじめ」というまで，この問題冊子を開いてはいけません。

2　問題は1冊(本文24ページ，下書用紙2枚)で，解答用紙は1枚です。下書用紙は問題冊子の中に挟み込んであるので，引き抜いて使っても構いません。なお，問題冊子と下書用紙は持ち帰って構いません。

3　すべての解答用紙に受験番号を書きなさい。なお，受験番号は，次の要領で明確に記入すること。

(例)　受験番号50001番の場合 ⟶ | 5 | 0 | 0 | 0 | 1 |

4　1) 世界史，2) 日本史，3) 地理，4) 倫理，政治・経済，5) ビジネス基礎，以上5科目のうちから1科目を選んで答えなさい。さらに選択科目の番号を受験番号の隣の欄に書きなさい。

(例)　2) 日本史を選んだ場合 ⟶ | | | | | | 2 |

5　解答は，解答用紙の所定の位置に横書きで書きなさい。他のところに書いても無効になることがあります。

また，字数などの指示がある場合は，その指示に従って書きなさい。なお，字数制限がある場合，算用数字及びアルファベットに限り，1マスに2文字入れることができます。それ以外の句読点や問題番号には1マスを使用すること。ただし，例えば「問1」ならば「1」とのみ書いても構いません。

I　5

1		・	・	・	・		

世　界　史

I　次の文章を読んで，問いに答えない。

人間は自分の「空間」についてある一定の意識をもっているが，これは大きな歴史的変遷に左右されるものである。種々さまざまな生活形態には同じく種々さまざまな空間が対応している。同時代においてさえも日々の生活の実践の場面では，個々の人間の環境はかれらのさまざまな職業によってすでにさまざまに規定されている。大都会の人間は農夫とはちがったふうに世界を考える。捕鯨者はオペラ歌手とはちがった生活空間をもっており，また飛行家にとって世界と人生は他の人々とは別の光の中に現れるだけでなく，別の大きさ，深み，そして別の地平において現れてくる。いろいろな民族全般，人間歴史のいろいろな時代についていえば，空間観念の相違はもっと深く，そして大きくなる。

(中略)クリストファー・コロンブスがコペルニクスの出現を待ってはいなかったと同様に，歴史的な諸力も学問を待ってはいない。歴史の力の新しい前進によって，新たなエネルギーの爆発によって新しい土地，新しい海が人間の全体意識の範囲の打ちに入ってくるたびごとに，歴史的存在の空間もまた変わってゆく。そして政治的・歴史的な活動の新たな尺度と次元が，新しい学問，新しい秩序が，新たに生まれた，あるいは再生した民族の新しい生が始まるのだ。この拡大・発展がひじょうに根深くまた思いがけないものであるために，ただ人間の標準や尺度，外的な地平だけでなく空間概念そのものの構造まで変わってしまうということもある。ここにおいて空間革命ということが問題になりうる。

(カール・シュミット著，生松敬三/前野光弘訳『陸と海と―世界史的一考察』より引用。但し，一部改変)

問い　ヨーロッパの歴史を考えるとき，この文章で述べられるような「空間革命」が11～13世紀にかけて見られたと考えられる。それはどのようなきっかけによるものだったか，また，結果としてヨーロッパでどのような経済・社会・文化上の変化が生じたか，考察しなさい。(400字以内)

II　近代ドイツの史学史に関する次の文章を読み，問いに答えなさい。

総じて言えば，一概に古代経済史研究とは称しても，歴史学派〔経済学〕におけるものと〔近代歴史学の〕古典古代学におけるものとは，研究への志向の契機においても，事象の対象化の方法においても，ひとしからざるものが存するのである。歴史学派経済学はその根本の性格においては依然として経済学なのであって――即ち歴史学ではないのであって――古代にも生活の一特殊価値たる経済を発見せんとすることが最も主要な研究契機を形作ってゐるのに，古典古代学にあっては，経済をもそのうちに含むところの古代世界への親炙が研究契機になってゐる。歴史学派においては全ヨーロッパ的経済発展上の然るべき位置に古代経済を排列することが問題になってゐるのに，古典古代学においては，古代と現代とを本来等質の両世界として，又等質たるべき両世界として表象することが主要問題になってゐる。古典古代学にも発展の理念は存するけれども，それは等質の両世界における，同一律動のそして自界完了的なる発展の理念であって，全ヨーロッパ的，又は全人類的発展の観念ではない。古代の事象は，それが経済世界を構成する方向において対象化せられるのが歴史学派経済学における方法であるのに，古典古代学においては，古代の事象はそれが歴史的現実的なる古代を形成する方向において対象化せられる。もしかくの如き観察が――多数の異例は別として――一般的に下されうるものとすれば，古代経済に関する論争が単に史料の技術的操作の辺にのみ存するものではない所以と，論争のよつて来るところの精神史的・文化史的深所とをも，同時に理解しうるわけであらう。

（『上原専祿著作集 3　ドイツ近代歴史学研究　新版』より引用。但し，一部改変）

問い　文章中の下線部について，歴史学派経済学と近代歴史学の相違とはいかなるものであり，また，それはどのようにして生じたのか，両者の成立した歴史的コンテクストを対比させつつ考察しなさい。（400 字以内）

Ⅲ 次の文章は，ある朝鮮人革命家が，アメリカのジャーナリストに語った回想を元に書かれたものである。これを読んで，問いに答えなさい。（問１，問２をあわせて 400 字以内）

先生は，中学校の教室の前に芝居じみた厳粛さで立ち，生涯忘れられない美しい言葉のあふれる演説をした――今日それはなんと反語的に響くことか！

「この日，朝鮮独立の宣言はなされた。朝鮮全土に平和なデモ行動が行われよう。われわれはただ独立と民主主義を求めるのみだ。誰もわれわれの正当な要求を拒むことはできない。」

私たちは彼に率いられて街に出，何千という他の学校の生徒や街の人々と隊伍を組み，歌いながらスローガンを叫びながら町中を行進した。

デモの途中，町の中で大衆集会が開かれ，そこで新たな独立宣言が読みあげられた。この宣言は国際主義的心情の色彩が濃く，平和精神と万国の国際的信義の擁護とをうたっていた。また中国とインドに共闘の呼びかけを行っているが，①中国は山東半島の一部を日本に引き渡す運びとなった日英の秘密条約が発覚してからそれに応じてきた。

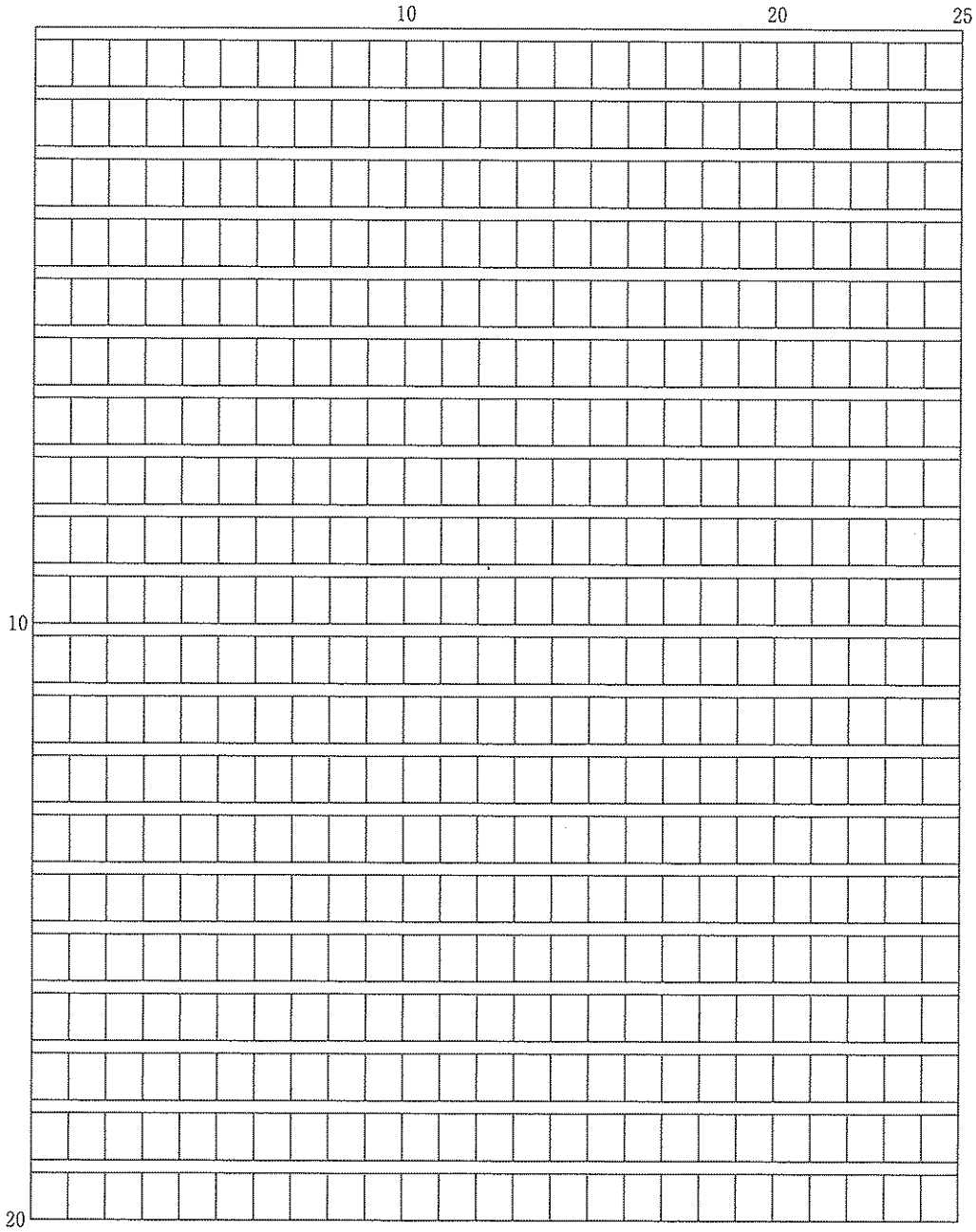
私は世界的大運動に重要な役割を演じているような気持ちで，至福千年がついに来たのだと思いこんでいた。しばらくして伝わってきた②ヴェルサイユの裏切りのショックは大変なもので，私などまるで心臓が裂けてとび出すかと思った。

（ニム・ウェールズ著，松平いを子訳『アリランの歌』より引用。但し，一部改変）

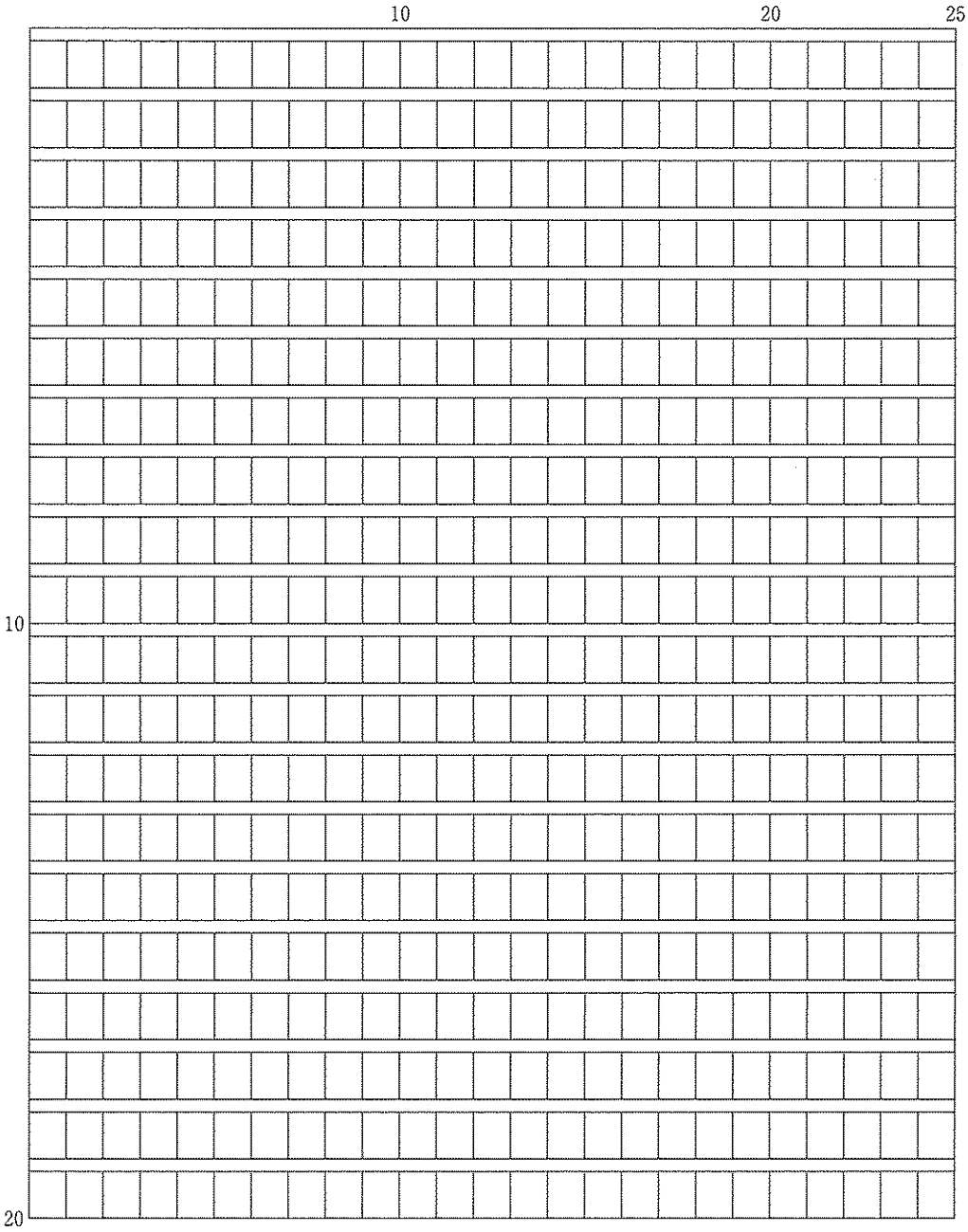
問 1　この文章全体で描写されている運動と下線①が示す運動について，それぞれの名称を示しなさい。

問 2　下線②で示されている会議に言及しつつ，両運動の背景および展開過程，意義を論じなさい。

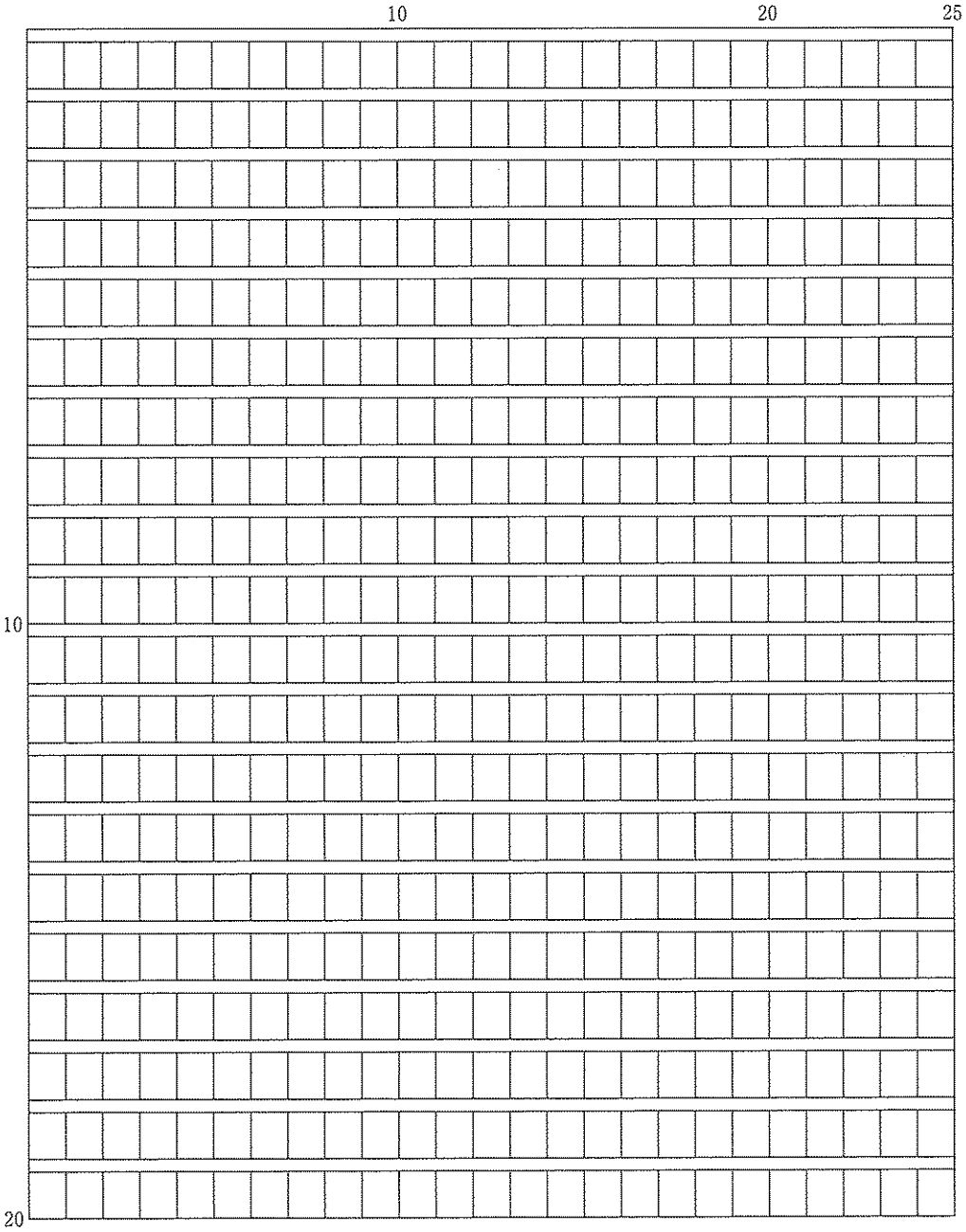
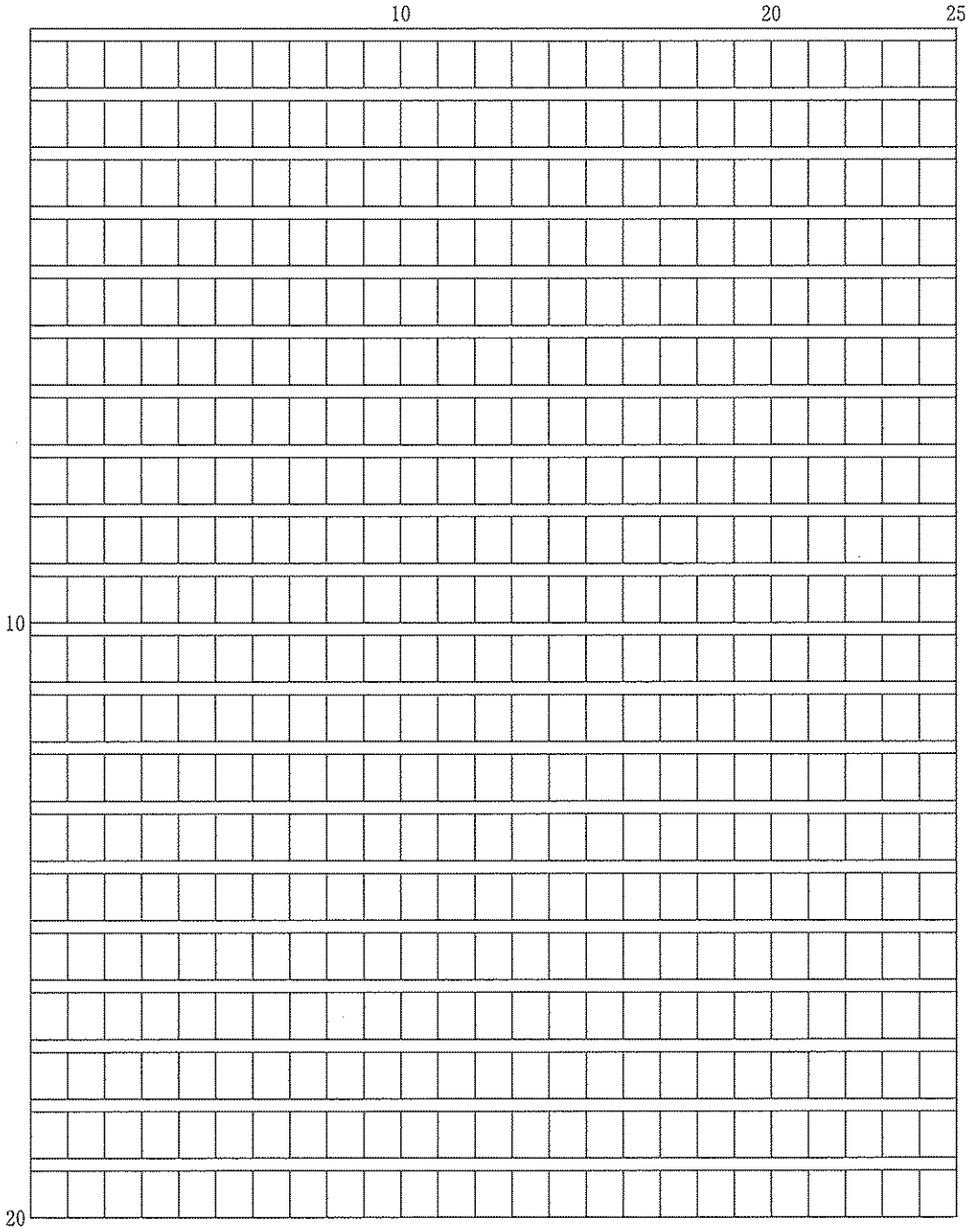
〔下書用紙〕



〔下書用紙〕



〔下書用紙〕



〔下書用紙〕